



青樹会便り

第42号

精神科医療と感染予防対策



副院長 瀆名 優

感染予防といえば従来はインフルエンザやノロウイルス対策に重点を置いていましたが、今は何といても新型コロナ対策です。そこで今回は精神科の外来と入院各々の感染予防対策をお話させていただきます。

まず外来ですが、病院玄関にて呼吸器症状の有無などの聞き取りと体温測定をさせていただいております。待合室・診察室の換気、空気清浄機の設置を行い、全職員マスクだけでなく、ゴーグルもしています。診察室内では患者様と2mのソーシャルディスタンスを取り、間に設置されたアクリル板越しでの診察です。コロナ前なら患者様の表情を一目見ただけで調子分かることも多かったのですが、今はゴーグル

越し、アクリル板越し、マスクで表情は隠れて声も聞き取りづらく、日々診察しづらさを痛感しております。

次に入院ですが、ご高齢の患者様も多く入院されており、一旦院内にコロナウイルスが持ち込まれてしまったら地獄絵図となることは火を見るよりも明かです。とにかく**病院内にウイルスを持ち込まないこと、たとえ持ち込まれても早期に封じ込めることが何をおいても肝要です**。

そのため、新たに入院された患者様がコロナウイルスに感染している場合を想定し、入院から10日間は個室に入ってください、病室内でカーテンで隔離した状態で過ごしていただいております。

従来は患者様の症状に合わせて行っていた面会・外出・外泊は原則お断りさせていただいております。内科や外科など身体の病気ではX線・CT等の画像検査や血液検査などで病状や治療の効果を評価できます。一方、精神科の場合このような客観的な検査はなく、患者様の自覚症状を聞き取り、病院内での様子を観察すること以外、ご家族様から見た評価が非常に重要となってきます。従来ならご家族様との面会・外出・外泊を通じ、ご家族様からの評価を参考にしつつ、面会・外出・外泊を重ね、徐々にご自宅に戻ってもらうことでご本人、ご家族様の不安を軽減して退院していただいております。コロナ以降、面会・外出・外泊をしていただけないことで、退院の判断が本当に難しくなりました。また、認知症で入院されてしばらくご家族様に会えない間に、ご家族すら分からなくなってしまうといった悲劇もしばしば見られます。タブレットを使ったオンライン面会など工夫はしておりますが、やっぱり直に面会することにはなかなか及ばないようです。

他にはマスクをご負担いただき、入院中の患者様にもマスクをして過ごしていただくよう努めています。また、病棟内のドアノブ、手すり、テーブル等日々職員は消毒に明け暮れております。検査・処置・介護等で患者様に触れる都度消毒や手洗いが必要で、手荒れ、あかぎれを抱える職員は多数います。職員がコロナに感染して持ち込む恐れもあり、プライベートな時間についても感染の機会が少なくなるよう行動の自粛を徹底しています。それでも万が一のことを想定して、マニュアルの整備、防護具の着脱訓練、物品の準備・備蓄など考えられる限りの対策を行っております。

患者様、ご家族様には不便や不都合に感じられる面は多々ございますですが、何卒温かい目で見守っていただけたら幸いです。



外来診療予定表



	月	火	水	木	金	土
1 診	由利	山 柁	石 倉	由利	山 柁	石 倉
2 診	吉 川	山 本	濱 名	山 本	濱 名	交替医 (予定)
3 診	山 路	青 木 (崇)	山 路	青 木 (崇)	佐 藤	齋 藤 (第 1. 3. 5 週) (予約制)
4 診	佐 藤	青 木 (宣)	齋 藤	齋 藤	吉 川	佐 藤 (第 2・4 週) (予約制)
5 診	—	—	廣 田	岡 島	—	—
内 科	—	—	森	鈴木 (総診)	—	—
循環器	—	—	—	—	—	蘆 原

外来診療は予約制です。事前にお電話でご確認ください。

- ・診 療 時 間 : 午前9時 ~ 午後5時
- ・診 療 日 : 月曜日~土曜日 土曜日は平常どおり診療しております。
- ・休 診 : 日曜 祝祭日 年末年始 (12/29~1/3)



~~ 受診の際は健康保険証をお忘れなく ~~



認知症疾患医療センターおうみのご紹介。



認知症疾患医療センター おうみは、認知症の早期発見、早期治療を目指し、認知症に関する専門医療相談や認知症の鑑別診断を行っています。認知症かな?と思ったらまずはご相談ください。

専門医療相談員がご本人の様子をお伺いし、必要に応じて鑑別診断のための検査・診察の調整をいたします。診察では検査結果やご本人との面談、ご家族の情報などから認知症かどうかを診断し、結果を説明いたします。

※鑑別結果はかかりつけ医にもお知らせしますので、通い慣れた診療所や開業医、病院で治療を継続することが出来ます。

- ➡ 相 談 日 月~金曜日
(土日・祭日・年末年始除く)
- ➡ 相 談 時 間 9:00~16:00
- ➡ 相 談 方 法 来院・面談・電話相談
- ➡ 直 通 番 号 0748-33-7106



令和3年3月吉日 発行

発行者 公益財団法人青樹会 編集者 公益財団法人青樹会 広報委員会
連絡先 広報室 代表番号 0748-33-7101

新型コロナウイルス感染症の 予防策について

新型コロナウイルス感染症が、世界中に蔓延し1年となりました。

通常、私達医療従事者は、すべての患者様の**血液、(汗を除く)体液、分泌物、嘔吐物、排泄物、創傷皮膚、粘膜等は、感染する可能性があるものとして取り扱っています。**

検査課 課長
木村 直子

標準予防策を実施していますが、新型コロナウイルスの感染経路は、主に喀痰や鼻水などの体液やそれらに汚染された環境を触った手で、目や鼻、口などの粘膜に触れたり(**接触感染**)、くしゃみや喀痰などの飛沫が目や鼻、口などの粘膜に付着したり呼吸器に入ることでおこる(**飛沫感染**)ため、**標準予防策に加えて接触予防策と飛沫予防策を適切に行う必要があります。**

また、無症状者や発症前から感染力があるということで、感染しない対策と感染させない対策を常に行わなければならなくなりました。今は、マスクとゴーグル姿で勤務しています。

この感染症をおさえるために、医療従事者でない方も、医療従事者レベルの対策を求められているのではないのでしょうか。

今までは、咳やくしゃみ等の症状がある人にはエチケットとしてマスクの着用を求められていましたが、現在は無症状の人も含めてすべての人がマスクを着用する**ユニバーサルマスク**へと変わりました。

また、手洗いの徹底やタオルを共有しないこと、部屋の定期的な換気、共有部分の消毒、ソーシャルディスタンスといった防止対策も推奨されています。

そして今一番言われていることは、一緒に住んでいる人以外との食事を控えることです。趣味が旅行や食べ歩きという方も多いと思いますし、その他にも好きなことが自由に出来ない今の状況は、本当にストレスがいっぱいですね。諏訪中央病院の玉井 Dr. の「新型コロナウイルス感染をのりこえるための説明書」(ネット検索して下さい。すごく解り易いです。)にありますように、**家族の大切さ、命の大切さ、仲間の大切さなどをじっくり感じながら、花を咲かせられないなら根を伸ばす。**

先を明るくみて、今だから出来ることに目を向けていきたいと思います。

「自分は大丈夫だろう」という謎の自信はすてて、引き続き感染対策を続けましょう。

お知らせ

当院では住民の皆様【健康に関する】情報発信を行っています。今年度は病院のホームページへの原稿掲載を予定しています。

執筆者は滋賀県立精神医療センターの認定看護師である、和田 隆正氏です。テーマは「**こころの健康とアルコールの影響について**」です。お酒との付き合い方の参考にしていただきたいと思います。

認知症疾患医療センターでは、例年、地域住民の皆様を対象に認知症セミナーを開催しておりましたが、本年度は新型コロナウイルス感染拡大の状況を鑑み皆さまの健康と安全を第一に考慮しました結果、中止とさせて頂いております。

そこで認知症に関する情報を**当院ホームページ「お知らせ」に掲載しました。**お時間がある際にご覧いただくと幸いです。

当院の感染症対策設備の紹介

総務課 課長 岡野 真吾

滋賀八幡病院では新型コロナウイルス感染症に対し様々な対策を講じ、患者様やご家族様が安心していただけるよう努めています。

その中で、新たに設置した備品・設備について紹介させていただきます。

①次亜塩素酸空間除菌脱臭機（ジアイーノ）

「次亜塩素酸」はウイルス対策に注目されている有効成分です。水と塩のみで「次亜塩素酸」を自動生成し、菌やウイルスを除菌・抑制します。当院では待合室や病棟など主に患者様が出入りされる場所を中心に計39台導入しました。



②加湿空気清浄器（プラズマクラスター2500 搭載）



プラズマクラスター技術はアレルギー物質やカビ菌、付着ウイルスなどが抑制されます。当院では事務室や会議室など28台導入しました。

③AI顔認証サーモグラフィカメラ

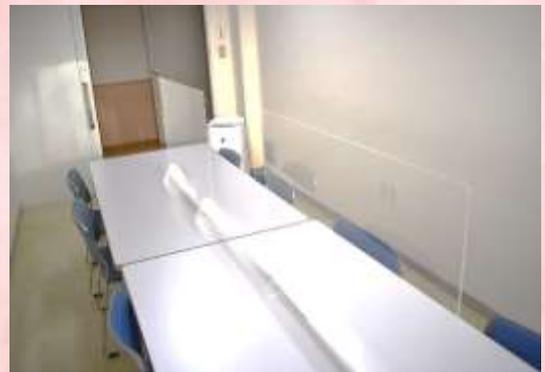
マスクを付けたまま顔認証可能なAIシステムに高性能サーモグラフィカメラによる体温測定がプラスされています。体温検知誤差±0.3℃であり、設定した温度以上でア



ラート及び通知機能が搭載されています。正面玄関入口及び職員通用口の計2台設置し、患者様だけでなく職員の検温もこの機器で行っています。

④アクリルパネル

受付や会議室など対面が想定される、あらゆる箇所に設置しています。



⑤トイレなど水回り改修

小便器（4カ所）や洋式便座（18カ所）の水を流すスイッチを非接触型センサースイッチに改修し、またトイレなどの手洗（26カ所）についても非接触型センサー蛇口に改修しました。

